

令和5年度高梁市事務事業評価 対象事業・本部評価一覧

資料2-2

対象事業 ※Noは【参考資料】評価シート一式のページ番号と同じ				事業内容（評価シート抜粋）			各部会（部員）評価結果（評価シート抜粋）						本部評価
No	部会	所属	事業	目的	手法	R4事業費 (千円)	目的 妥当性	有効性	費用 対効果	社会情勢 ・環境	二一ズ	部会長コメント	
1	総務部会	秘書企画課	ふるさと応援基金活用事業	ふるさとを応援したいという「ふるさと納税制度」の趣旨に沿うことを原則とし、市内の特産品PR、販売の促進により、地域経済の活性化と関係人口の拡大を図る。	5千円以上の寄附者を対象に、返礼品として市内の特産品を送ること で、特産品のPR、販路拡大を図るとともに、寄附金を基金に積み立て、各種まちづくり事業へ充当することで事業の充実を図る。	328,574	適切	改善の余地あり	改善の余地あり	変化あり	増加	ふるさと納税は貴重な財源であり、様々な手法を用いて寄付の獲得に努めているが、目標寄付件数達成のためには、常に寄付者の動向等を分析し、返礼品等の開拓や改善を図っていく必要があると考える。	
2	総務部会	秘書企画課	学園文化都市づくり一般事務費（私立学校入学奨励金）	若い世代の市内居住によりまちの活気・賑わいを創出するとともに、入学者の確保により学校が維持・存続し、地域の高等教育を担う「知と人材の拠点」として、地域経済・社会の中核となる人材育成、地域経済・社会を支える基盤研究の推進を通じて、本市の発展に貢献している。	次のとおり入学奨励金を支給することで、本市への市内居住を促進する。 ・入学日前1年以上本市に住所を有する者 … 入学金相当額 ・入学後1月以内に本市へ住所を有した者 … 入学金相当額の1/2	1,190	改善の余地あり	適切	適切	変化あり	変化なし	人口減少が想定以上に進む中、学校の存続、学生の確保は最重要課題となっている。大学や高校、保護者の二一ズ等を改めて分析し、制度改善の必要性等について検討を進めていく必要がある。	
3	総務部会	総務課	職員研修事業（職員研修委託料）	公務員としての意識の確立と職員の能力を高め、まちづくりの担い手としての人材の育成を図る。	「高梁市人材育成基本方針」に基づき、一般研修、外部研修、集合研修などを実施	16,117	改善の余地あり	適切	改善の余地あり	変化あり	増加	官民、国・地方、自治体間それぞれの間での人材獲得競争が激しくなる中、研修による職員の能力向上は非常に重要なテーマです。時代の趨勢に合い、かつ、コストパフォーマンスが高い事業となるよう、不断の見直しが必要であると考えます。	
4	総務部会	理財課	財政管理費（財務諸表作成支援業務委託料）	統一的な基準による財務書類の作成を通じ、財務状況の明確化及び透明性の向上を図り、今後の財政運営に活用することを目的とする。	地方公共団体の会計方式（単式簿記・現金主義）は現金の収支に着目しており、土地や建物、借入金等の資産や負債のストックの情報が蓄積されず、年度毎の実質的なコストの把握が困難であった。そこで、民間企業の会計方式（複式簿記・発生主義）によりストック情報やコスト情報を備えた財務書類を作成し、併せて、国から示される統一的な基準により他団体との財務状況を比較できるようにする。	894	適切	適切	適切	変化なし	増加	なし	

令和5年度高梁市事務事業評価 対象事業・本部評価一覧

資料2-2

対象事業 ※Noは【参考資料】評価シート一式のページ番号と同じ				事業内容（評価シート抜粋）			各部会（部員）評価結果（評価シート抜粋）						本部評価
No	部会	所属	事業	目的	手法	R4事業費（千円）	目的妥当性	有効性	費用対効果	社会情勢・環境	ニーズ	部会長コメント	
5	産業経済部会	農林課	畜産業振興事業	畜産物の安定的な生産体制を確保するため、施設整備、放牧奨励並びに畜産経営の環境整備を行う畜産農家の経営の安定を図り、高梁市の畜産振興に資することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> 畜産農家に対する消毒用消石灰の配布 肉用牛生産者に対し優良繁殖雌牛導入補助金により繁殖牛の導入に対し補助金を交付する。 共進会費用の一部を負担し畜産振興を図る（R4鳥インフルエンザ発生により中止） 	2,000	適切	適切	適切	変化あり	変化なし	高病原性鳥インフルエンザ、口蹄疫等の予防のため、消石灰の配布は必要。 肉用牛生産者の経営安定に有効である。	事業の実施により、市内畜産業の売り上げや知名度の上昇につながっているかを調査し、有効性を検証してください。
6	産業経済部会	農林課	みんなの牧場へステップアップ事業	公共育成牧場の経営の安定と本市の畜産振興を図る。	公共育成牧場の効率的生産施設の整備等を行うとともに、地域のみんなの牧場へのステップアップに向けた新たな事業の展開を推進しながら預託牛増頭や機能の充実を図る。	1,170	適切	適切	適切	変化あり	増加	令和5年度から育成牧場利用組合補助金がなくなったため、組合の経営がかなり苦しくなっている。今後のあり方を検討する必要あり。	
7	産業経済部会	農林課	松くい虫駆除事業	薬剤の樹幹注入の実施及び県、市農林道沿線の松くい虫等病害虫の伐木を行い、被害防止を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 薬剤注入 高梁自然公園 松365本に対し薬剤1,450本使用。 弥高山公園 松77本に対し薬剤492本使用。 危険木伐倒 農道かぐら街道線 75㎡ 	7,517	適切	適切	適切	変化なし	変化なし	高梁自然公園、弥高山の景観を守るため必要。	
8	産業経済部会	農林課	新規就農総合対策事業（農業次世代人材投資資金）	就農前の研修段階及び経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して農業次世代人材投資資金を支給することで安定的な経営を支援する。	50歳未満の新規就農者に対し年額1,500千円を国が支援	18,375	適切	適切	適切	変化なし	変化なし	12名の新規就農者に5年間補助金が出るため、移住定住の大きなインセンティブとなっている。	

令和5年度高梁市事務事業評価 対象事業・本部評価一覧

資料2-2

対象事業 ※Noは【参考資料】評価シート式 のページ番号と同じ				事業内容（評価シート抜粋）			各部会（部員）評価結果（評価シート抜粋）						本部評価
No	部会	所属	事業	目的	手法	R4事業費（千円）	目的妥当性	有効性	費用対効果	社会情勢・環境	ニーズ	部会長コメント	
9	産業経済部会	農林課	単市土地改良事業（小規模土地改良工事費補助金）	小規模な災害復旧及び農業生産基盤の整備	対象者が行う小規模な生産基盤及び災害復旧工事に係る車両・機械借上料・回送費・保険料・材料費を対象とし、上限40万円の90%以内で助成。 【農地】豪雨等により小規模崩土被害を受けた農地の土砂撤去作業に要する費用助成。 【農業用施設】2戸以上が利用する農業用施設の維持・改良・災害復旧作業に要する費用助成。 ※災害復旧については1戸でも可。	3,526	適切	適切	適切	変化なし	変化なし	特になし	
10	産業経済部会	観光課	観光振興一般事務費（備中松山城登城バス運行委託料）	備中松山城観光客の利便性向上、観光客数の拡大	備中松山城が建つ臥牛山の5合目付近の城見橋公園駐車場～8合目付近のふいご峠間において、交通混雑緩和及び利便性向上、備中松山城観光客数の拡大を図るためバス輸送による登城整理業務及び駐車場整理・警備業務、公衆トイレ施設（城まちステーション）の管理等を委託するもの。	5,484	適切	適切	適切	変化あり	変化なし	バス代を3000円から5000円に値上げするなど観光協会も努力している。	観光客の動向を把握し、運行計画の調整を随時行いながら、委託料の抑制に努めてください。
11	産業経済部会	観光課	観光振興一般事務費（観光事業プロモーション補助金）	旧吹屋小学校を吹屋地区の拠点施設として、若年層と首都圏への情報発信と、体験型イベントの実施により、空港・吹屋直行バスと連動した経済効果の最大化を図る。	市民に向けて広報紙に記事掲載、各空港、JR駅、バスターミナルでのポスターやCM告知、ホームページやランディングページでの告知 オープン式典におけるマスコミの活用（山陽新聞、RNC、吉備ケーブル、NHK）	10,125	適切	適切	適切	変化あり	増加	まだ高梁の知名度が低く、吹屋はさらに低い状態を打破する必要がある。	
12	産業経済部会	観光課	2次交通実証運行事業	首都圏やインバウンド受入体制整備を目的とした持続可能な取組みを模索するため、タクシーやレンタカーを活用した二次交通の実証運行を行う。	・市内への宿泊を条件にタクシー利用料の3,000円を補助 ・市内で飲食及び観光施設（2箇所以上）に入館することを条件にタクシー利用料の半額を補助 ・レンタカーを利用して市内に宿泊する者のレンタカー利用料の5,000円を補助	3,009	適切	改善の余地あり	改善の余地あり	変化あり	増加	インバウンド需要は確実に伸びてはいるが、高梁・吹屋まで回ってもらうには、何か話題が必要。	実証運行による経済効果を検証し、効果が見込めない場合は、事業を終了してください。

令和5年度高梁市事務事業評価 対象事業・本部評価一覧

資料2-2

対象事業 ※Noは【参考資料】評価シート一式のページ番号と同じ				事業内容（評価シート抜粋）			各部会（部員）評価結果（評価シート抜粋）						本部評価
No	部会	所属	事業	目的	手法	R4事業費 (千円)	目的 妥当性	有効性	費用 対効果	社会情勢 ・環境	ニーズ	部会長コメント	
13	産業経済部会	産業振興課	企業誘致推進事業	市内へ新規企業が立地し、産業振興及び雇用機会の増大を図ることを目的とする。	市内適地に新たな工業団地を造成するとともに、本市の立地条件や魅力を県内外に情報発信し、本市への関心を高めながら工業団地や廃校、空き店舗等への企業誘致を積極的に推進する。また、県企業立地協議会に加盟し、東京・大阪・名古屋で開催される企業立地セミナーへの参加をはじめ、岡山県東京・大阪事務所と連携して高梁市への誘致促進を図るとともに、独自に誘致活動を積極的に行っていく。加えて、新たに企業立地した企業に対する助成を行う。	45,377	適切	適切	適切	変化あり	増加	有漢工業団地の興和紡の早期着工・開業を目指す。県営の工業団地造成の要望を行っていきたい。	
14	産業経済部会	産業振興課	商工振興事業費（高梁サテライトオフィス・シェアオフィス整備事業補助金）	対象者が市内に新たにサテライトオフィス等を整備することで、ワークライフバランスの充実及び多様な働き方の促進並びに地域経済の発展を図ることを目的とする。	「市内の空き物件を整備して、新たにサテライトオフィス等を開設する企業（法人、個人事業主）」または「市内の空き物件の所有者で、空き物件を改修し、企業向けのサテライトオフィスの提供を行う方」に対して、サテライトオフィスを整備する費用の一部に応じた補助金を交付する。	1,877	適切	適切	適切	変化あり	増加	アフターコロナで、サテライトオフィス・シェアオフィスの需要は確実に高まっている。補助の仕方に工夫が必要。	
15	土木部会	建設課	単市道路改良事業（生活道整備補助金）	市民の生活環境の向上を目的として、市道等を市民と協力して修繕、整備する。	市民の生活環境の向上を目的に生活道を整備する者に対して、予算の範囲内で助成金を交付する。上限50万円又は補助率10分の5（災害復旧工事の場合、100万円又は補助率10分の5）	3,148	適切	適切	適切	変化なし	増加	なし	
16	市民生活部会	市民課	地方バス路線維持支援事業（生活福祉バス運行委託料）	市内住民の交通手段を確保し、公共の福祉の増進を図る。	路線バスが走っていない地域住民の移動手段として生活福祉バスを運行している。（川面町、巨瀬町、中井町、成羽町、川上町の16路線）バス事業者に運行委託している。	38,590	適切	適切	改善の余地あり	変化あり	変化なし	費用面の問題は認識しているが、市内の公共交通網確保のため、内容を見直しながら実施を継続している。他に交通手段を持たない人の実情を踏まえ、現実的で持続可能な輸送手段の研究を急ぐ必要がある。	低利用路線の削減やタクシー利用助成への転換を図りながら、引き続き経費縮減に努めてください。

令和5年度高梁市事務事業評価 対象事業・本部評価一覧

資料2-2

対象事業 ※Noは【参考資料】評価シート一式のページ番号と同じ				事業内容（評価シート抜粋）			各部会（部員）評価結果（評価シート抜粋）						本部評価
No	部会	所属	事業	目的	手法	R4事業費（千円）	目的妥当性	有効性	費用対効果	社会情勢・環境	ニーズ	部会長コメント	
17	市民生活部会	市民課	高校生バス路線等通学支援事業	バス通学する生徒の保護者に対し通学定期券購入費用の一部を補助することにより、保護者負担の軽減、路線バスの利用の促進を図る。	居住地の最寄りのバス停留所から高等学校等の最寄りのバス停留所又は、駅までの定期券購入費用の2分の1の額の補助金を交付する。	8,868	適切	適切	適切	変化なし	変化なし	子育て支援と公共交通利用促進の両面で効果的であり、継続すべきと考える。 市内の県立高校存続を図る中で、通学先（市内・市外）に応じた対応なども考えられる。	
18	市民生活部会	市民課	高梁市交通体系再編事業	市民生活に必要な旅客運送の確保、利便性の増進を図ると共に財政的効率化をふまえた持続可能な公共交通体系の構築を図る	・高梁市公共交通会議の開催 ・デマンド型乗合タクシーなどの公共交通体系再編に係る取り組み ・第2次高梁市地域公共交通網形成計画に基づくタクシー利用助成（実証実験）	25,848	適切	適切	改善の余地あり	変化あり	変化なし	長年取り組みを続けており、様々な手段を導入・試行しているが、恒久的な対策には至っていない。 市内事業者等との協議を続け、現実的で持続可能な全体方針の策定に向けた研究・合意形成が必要。	低利用路線の削減やタクシー利用助成への転換を図りながら、引き続き経費縮減に努めてください。
19	市民生活部会	住もうよ高梁推進課	移住促進体制整備事業（新婚さんスタートアップ補助金）	次世代を担う若者の婚姻に伴い、所得が一定の基準に満たない世帯の経済的不安の軽減及び地域における少子化対策の強化に資し、かつ、定住促進を図るため	①引越し費用（入居のために引越し業者等へ支払った費用） ②賃貸住宅の家賃等（入居に必要な礼金、不動産仲介手数料、入居後の家賃6カ月分） ③住宅の改修費用（入居のために必要な住宅改修費用） ④住宅の取得費用（結婚を機にした住宅新築や取得の費用）を29歳以下の夫婦には補助上限額60万円、39歳以下の夫婦には補助上限額30万円を交付する。	1,624	適切	適切	適切	変化あり	変化なし	喫緊の課題である人口減少及び少子化対策に係る事業であり、交付金対象事業でもあるため継続が妥当である。	
20	市民生活部会	環境課	環のまちづくり推進事業	環境問題に関する啓発や環境学習などの取組を継続することで、市民の環境に対する意識を地道に高めていく。	・次世代を担う子どもたちに環境について学習してもらうため、夏休期間の学童保育利用者を対象に環境学習を実施（県APIを活用） ・環境絵画コンクール応募者に対し、市長賞及び参加賞を授与し、環境問題について自ら考えるきっかけづくりを実施。 ・ゴミ減量化やア3ごみ問題、地球温暖化問題等について、環境パネル展を開催し、市民等にも環境問題についての意識付けを実施。	72	適切	改善の余地あり	適切	変化あり	増加	温暖化防止やごみ減量など、環境問題の理解促進のため、児童を対象に意識づけを図る事業であり、継続的な取組が必要。ニーズも高まっている育成教室については、実施回数の拡大も考えていきたい。	

令和5年度高梁市事務事業評価 対象事業・本部評価一覧

資料2-2

対象事業 ※Noは【参考資料】評価シート一式のページ番号と同じ				事業内容（評価シート抜粋）			各部会（部員）評価結果（評価シート抜粋）						本部評価
No	部会	所属	事業	目的	手法	R4事業費 (千円)	目的 妥当性	有効性	費用 対効果	社会情勢 ・環境	ニーズ	部会長コメント	
21	市民生活部会	環境課	老朽危険建物除却 促進事業	市民の生活環境に悪影響を及ぼす 空き家等を除去することにより、市 民が安心して快適に暮らすことがで きる生活環境を確保する。	倒壊等の危険性があり、近隣民家 等に重大な損害を及ぼすおそれがある 空き家について、当該建築物を除去 するものに対し、補助金を交付す る。	2,100	適 切	適 切	適 切	変 化 あ り	増 加	空き家が増加する中、地域の安全 対策・環境対策のため、所有者によ る危険家屋の除却を促す施策であ り、その重要性から、本年度は上限 額を拡大している。補助金による効 果を見ながら、今後も事業継続の必 要がある。	
22	健康福祉部会	健康づくり課	栄養改善事業	健康増進法と高梁市第2次すこやか プラン21に基づき生活習慣病と 食育推進のため、市民のライフ ステージに応じた栄養食生活改善事業 を実施する	①栄養食生活に関する教室の開催 ②イベント会場での栄養改善の普及 啓発 ③個別支援、相談	1,366	適 切	適 切	適 切	変 化 あ り	増 加	健康増進、維持、医療費軽減のた めに必要な事業であるが、今後、事 務軽減の方法等について研究を行 いたい。	
23	健康福祉部会	健康づくり課	ブックスタート事 業	健診で実際に児が絵本を見る様子 を保護者に伝える。育児に絵本を利 用し、絵本を見ることで児が情緒豊 かに育っていくこと。乳幼児期から 本に親しむ習慣の定着と本を通じて 子育てを楽しむことができる環境づ くりを目指していく。	読み聞かせボランティアが絵本や 子育て情報がいったブックスタート バックを配布、絵本の読み聞かせを 行う 読み聞かせボランティアへ研修会 および情報交換会を実施（社会教育 課、図書館と協働して開催）	366	適 切	適 切	改 善 の 余 地 あ り	変 化 あ り	増 加	ベビーファースト運動や子育て支 援の拡充による環境整備のため、維 持継続したい。	
24	健康福祉部会	健康づくり課	一般健康相談・教 育・運動事業（デ ジタルでプログラ ム事業）	検診結果に異変が現れ始める40歳 ～60歳代にICTを活用した生活習 慣病予防プログラムを提案し、実践 してもらうことにより重症化を防ぐ とともに継続的な検診受診を促す。	対象者自身のスマートフォンと市 が貸与するデジタル機器を連動させ ヘルスケアデータを保健師・栄養士 と共有。ヘルスケアデータは吉備国 際大学スポーツ社会学科へ依頼、個 人毎の評価と運動動画を市へ提供。 個人毎のヘルスケアデータと評価を 参考にLINEにて保健指導を実 施。	830	改 善 の 余 地 あ り	適 切	改 善 の 余 地 あ り	変 化 あ り	増 加	引き続き研究していく必要あり。 人件費削減に向けた研究も併せて行 いたい。	今後も事業を継続する場合は、引き 続き国県補助を活用し、必要機材の貸 与における市費負担の抑制に努めてく ださい。

令和5年度高梁市事務事業評価 対象事業・本部評価一覧

資料2-2

対象事業 ※Noは【参考資料】評価シート一式のページ番号と同じ				事業内容（評価シート抜粋）			各部会（部員）評価結果（評価シート抜粋）						本部評価
No	部会	所属	事業	目的	手法	R4事業費（千円）	目的妥当性	有効性	費用対効果	社会情勢・環境	ニーズ	部会長コメント	
25	健康福祉部会	福祉課	地域活動支援センター事業	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（以下「法」という。）第5条第1項第27号の規定に基づく地域活動支援センター事業は市町村の必須事業であり、身体障害者、知的障害者及び精神障害者等が通所することにより、障害者等に創作的活動又は生産活動の機会を提供し、社会との交流の促進等の便宜を供与するとともに、その機能を強化することにより、障害者等の地域生活支援の促進を図ることを目的とする。	法に基づく地域活動支援センター（Ⅲ型）として市が3作業所を設置し、NPO法人（2法人）に業務を委託している。	20,177	適切	適切	改善の余地あり	変化あり	変化なし	地域活動センターは孤立化やひきこもり対策として重要と認識しているが、B型、A型など障害者の自立に向けた就労支援事業所への障害者の移行を進めることが、重要であると認識している。早期には難しいが個々の状況をみながら代替の受け皿を確保していくことが求められる。	1か所当たりの実利用者数が少ないため、3か所を維持する必要性について、検証してください。
26	健康福祉部会	福祉課	外出支援サービス事業	高齢者及び身体障害者等の外出及び社会参加を容易にし福祉の向上を図る	市が事業者となり自家用有償旅客運送の登録を行い、高梁市社会福祉協議会へ事業を委託して実施。利用対象者は会員登録し、予約のうえ通院等のためドアツードアで移送サービスを利用する。	32,795	適切	適切	改善の余地あり	変化あり	増加	障害者等の社会参加の促進、日常生活支援のため必要な事業である。	利用料金の改定について受託者と協議し、利用者負担の適正化を図るとともに、委託料の抑制に努めてください。
27	健康福祉部会	福祉課	手話施策推進事業	手話の理解促進及び普及を図り、手話を言語として日常的に使える地域社会を構築し、ろう者とろう者以外の者が共生することのできる地域社会を実現する。	こども手話講座などを開催し、市民が直接手話に触れることができる機会を持つようするため、会場等工夫をする。イベントや講演会等で手話通訳者を配置するなど、手話による情報取得及び手話を使いやすい環境づくりを進める。地域の出前講座を担う市登録手話通訳者及び手話奉仕員のレベルアップを図る。	594	適切	適切	適切	変化あり	増加	適切であり、今後も継続または拡充の必要がある。	
28	健康福祉部会	福祉課	まちかど広場支援事業	高齢者、障害者、児童、一般住民のふれあい事業等を行い、人間関係豊かな住みよいまちづくりを進める。	高梁栄町商店街振興組合へ管理を委託し、市民の交流のため誰もが気軽に立ち寄れる場を提供していただく。	838	適切	改善の余地あり	改善の余地あり	変化あり	減少	市民の交流の場として定着されており、一定の評価はあるが、利用者のニーズは減少している。これは、直接的なコロナの影響を受けたものとも考えられるため、もう少し現状のまま継続しその動向を注視したい。	動向を注視した結果、依然としてニーズが少ないようであれば、廃止してください。

令和5年度高梁市事務事業評価 対象事業・本部評価一覧

資料2-2

対象事業 ※Noは【参考資料】評価シート一式のページ番号と同じ				事業内容（評価シート抜粋）			各部会（部員）評価結果（評価シート抜粋）						本部評価
No	部会	所属	事業	目的	手法	R4事業費 (千円)	目的 妥当性	有効性	費用 対効果	社会情勢 ・環境	ニーズ	部長コメント	
29	健康福祉部会	こども未来課	ワーク・ライフ・バランス推進事業	ワーク・ライフ・バランス推進の一環として、「高梁市パパ・ママ・子育て応援企業登録事業」を推進し、地域全体で子育てを応援する気運を醸成する。また、子育てを積極的に応援する企業に奨励金を交付し、良好な職場環境の推進を図り、安心して子どもを産み育てることのできるまちづくりを目指す。	・市内で事業活動を行い、「子育てと仕事が両立できる職場環境の整備」や「地域における子育て支援」等に積極的に取り組む、子育てに優しい企業等を「高梁市パパ・ママ・子育て応援企業」として登録し、市ホームページ等で公表する。 ・高梁市パパ・ママ・子育て応援企業奨励金を交付する。（産後パパ育休取得奨励金、男性の育児休業取得奨励金、再雇用奨励金、研修会開催奨励金）	300	適切	適切	適切	変化あり	増加	適切である。	一部の奨励金について実績がない要因を検証し、活用しやすい制度設計としてください。
30	健康福祉部会	こども未来課	病後児保育事業	就労している保護者の子育てと就労の両立を支援し、安心して子育てができる環境を整備するため、病気の回復期等にある児童を一時的に預かる。	たかはし病後児保育室（元成羽ビジョン、成羽病院近く）で開室をする。成羽病院診察日（月～金、土は第1、3、5。8：30～17：15）に合わせて実施する。利用者の手続きについては、窓口申請のみでなく、LoGoフォームにての電子申請を可能にした。医師の連絡票は利用者が取得し、窓口提出及び電子申請時に添付する。	319	適切	改善の余地あり	適切	変化あり	変化なし	子育てしている中での安心感にはつながっているが、利用者が伸びない現状があり、ニーズがないわけではないと考えられるので、その要因を探りながら改善策を検討する必要がある。	実績が少ない要因を検証し、利用しやすい制度設計としてください。それでも利用者が増加しない場合は、本事業の必要性を検証してください。
31	健康福祉部会	こども未来課	子育て支援センター管理事業	子育て家庭の育児ストレスや負担感を減らし「子育ての孤立化」を予防する。	地域の子育て中の親子の交流促進や育児相談等を実施、併せてファミリーサポート会員同士の連絡調整を行い子育てを支援する。	9,383	適切	適切	適切	変化あり	変化なし	適切である。母子保健から児童福祉施策における、子育て世代の一番の窓口・接点であると認識しており、とても重要な施設である。	
32	健康福祉部会	こども未来課	子育て支援対策事業	地域や大学と協働した子育て支援対策事業を展開し、子育てのしやすい環境づくりを推進する。	吉備国際大学「たかはし子育てカレッジ」と協働事業（子育て講座、子育て支援講座への講師派遣など）を実施し、子育ての知識の普及や親同士の交流を図っている。 また、地域の子育て支援施設「にこにこ広場」への運営補助や子育ての情報を集約した「子育てガイドブック」の作成など、子ども達の交流スペースの提供や情報発信を行っている。	540	適切	適切	適切	変化あり	増加	適切である。	

令和5年度高梁市事務事業評価 対象事業・本部評価一覧

資料2-2

対象事業 ※Noは【参考資料】評価シート一式のページ番号と同じ				事業内容（評価シート抜粋）			各部会（部員）評価結果（評価シート抜粋）						本部評価
No	部会	所属	事業	目的	手法	R4事業費（千円）	目的妥当性	有効性	費用対効果	社会情勢・環境	ニーズ	部会長コメント	
33	健康福祉部会	健幸長寿課	地域福祉づくり推進事業	介護を要する者を介護する家族に対して、在宅介護激励慰労金を支給することにより、介護者を感謝激励し、在宅介護を支援する。	介護を要する者を介護する家族に対して、在宅介護激励慰労金を支給する。 (要介護3：10,000円、要介護4：20,000円、要介護5：30,000円)	3,149	改善の余地あり	改善の余地あり	適切	変化なし	変化なし	目的、妥当性については改善の余地があり、他の類似事業との整理を含めて、検討していきたい。	
34	健康福祉部会	健幸長寿課	介護人材確保対策事業	1. 介護ロボットのうち、介護事業所の職員の負担軽減及び要介護者等に対する見守り、日常動作補助、精神的ケア等に資するもので、有効性等が特に高いと認められるもの（以下「対象介護ロボット」という。）を無償で貸し出すことで、その利用促進を図るとともに、利用効果等の調査を行う。 2. 介護職員初任者研修（以下「研修」という。）の受講に要した経費の一部を助成することにより、市内における介護従事者の充実を図り、地域福祉の増進に資することを目的とする。	①介護事業所に対し、対象介護ロボットを一定期間無償で貸し出し、その効果を測定する。 ②研修に要した費用(教材費等の実費を除く)を助成し、助成の額は、助成対象経費の2分の1以内とし、1人につき6万円を限度に、予算の範囲内において交付する。	580	改善の余地あり	改善の余地あり	改善の余地あり	変化あり	増加	安定的、継続的に介護事業所が運営するための人材確保策のひとつであると認識している。介護ロボットにこだわらずに、介護のICT、AI活用など、デジタル化の推進を図るよう全体的な見直しが必要と考える。	今後は、介護事業所からどのようなニーズがあるかを把握した上で実施するようにしてください。
35	健康福祉部会	健幸長寿課	健やか高齢者生きがい支援事業（生きがい活動支援通所事業委託料）	在宅で生活する高齢者に通所でのサービスを提供することで、自立生活の促進、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持・向上を図る。	高梁・川上・備中地域では高梁市社会福祉協議会、有漢地域では社会福祉法人吉美会に委託（成羽地域は直営）し、食事サービス、生活指導、日常動作訓練、送迎サービス等を提供している。なお、高梁地域においては、巨瀬地区を除く9地区で、地域のボランティア団体が中心となって実施している。	16,073	適切	適切	適切	変化なし	変化なし	適切と考える。	
36	消防部会	消防総務課	消防団運営事業	地域の消防防災体制の中核的役割を担う消防団員の充実強化を図ることにより、市民の安心安全の確保に資することを目的とする。	消防団員報酬、活動報酬（R4まで報償費）を条例並びに規則に則り執行しており、消防団の円滑で効率的な事業の遂行のため諸経費を計上している。これらは、消防団員の年額報酬、出動報酬、消防団に運営に欠かせない消防団運営費をはじめ、安全基準を満たす被服貸与、消火活動に欠かせないホース等資器材の導入や、消防団員の災害補償等消防団活動に必要不可欠な事業である。	78,457	適切	適切	改善の余地あり	変化あり	増加	なし	

令和5年度高梁市事務事業評価 対象事業・本部評価一覧

資料2-2

対象事業 ※Noは【参考資料】評価シート一式のページ番号と同じ				事業内容（評価シート抜粋）			各部会（部員）評価結果（評価シート抜粋）						本部評価
No	部会	所属	事業	目的	手法	R4事業費 (千円)	目的 妥当性	有効性	費用 対効果	社会情勢 ・環境	ニーズ	部会長コメント	
37	消防部会	予防課	火災予防事業	火災を予防するとともに、火災による被害の軽減を図ることを目的とする。	防火対象物や危険物施設に対して防火・防災上の指導を行い、建物利用者の安全確保及び危険物に関連する事故防止の徹底を図ります。また、火災の出火原因や傾向を分析して効果的な広報の展開と実効性の高い訓練指導を行い、住宅火災等を防止します。	1,327	適切	適切	適切	変化あり	増加	なし	
38	教育部会	教育総務課	奨学金貸付事業	経済的理由により修学困難者に対し奨学金の貸付けを行い、将来社会に貢献し得る人材を育成することを目的とする。	高等学校生徒（月額：18,000円）、大学等学生（月額44,000円）へ奨学金の貸付けを行うもの。 平成28年度より、定住を目的とし、奨学金返還免除制度を導入。	6,864	適切	適切	適切	変化あり	変化なし	高校生への貸付については、見直しが必要	大学生分においては、日本学生支援機構などの実施している貸付型の奨学金制度の活用が可能であるほか、市に目的別の奨学金が充実しており、また、高校生分については、授業料無償化制度等により活用実績がないことから、本事業を本市が実施する必要性が薄れているため、新規受付の終了可否について検証してください。
39	教育部会	こども教育課	実施・研究委託事業（学童陸上運動記録会委託料）	児童の陸上運動の技術向上とともに、運動に意欲的に取り組もうとする態度を育成する。	神原スポーツ公園で高梁市陸上運動記録会を開催する。	643	適切	適切	適切	変化あり	増加	学校の枠を超えた競技会形式の大会は、体力づくりの機会確保のみならず他校との交流、競争意欲を向上のため、意義あるものとする。	
40	教育部会	こども教育課	遠距離通学事業	統合により遠距離通学となった児童生徒の通学ため。	スクールバスを運行する。運行は委託する。	61,647	適切	適切	適切	変化あり	増加	学校再編を進める上で、安全な移動の確保は必須条件と考える。	

令和5年度高梁市事務事業評価 対象事業・本部評価一覧

資料2-2

対象事業 ※Noは【参考資料】評価シート一式のページ番号と同じ				事業内容（評価シート抜粋）			各部会（部員）評価結果（評価シート抜粋）						本部評価
No	部会	所属	事業	目的	手法	R4事業費（千円）	目的妥当性	有効性	費用対効果	社会情勢・環境	ニーズ	部会長コメント	
41	教育部会	社会教育課	子ども読書活動推進事業	本に親しむ機会をつくり、子どもたちの読書に対する意欲や関心を高め、読書好きの子どもを育てる。	前年度の贈呈対象者に対し、アンケートを実施。図書館職員児童書担当や小学校図書館司書をメンバーとしてセカンド・サードブック連絡会を実施。アンケート結果等を踏まえて贈呈する図書の選定を行う。贈呈本を各10冊選定し、各学校園を通じて希望調査を行う。希望する図書を取りまとめて市内6業者に発注し贈呈する。	544	適切	適切	適切	変化あり	変化なし	贈呈本の活用評価のみならず、継続的な読書習慣確保の仕掛けについて研究が必要。	職員負担軽減のため、図書館等に事業委託を働きかけてください。
42	教育部会	社会教育課	歴史美術館管理運営費	高梁市歴史美術館の管理運営を行うことで、高梁市の歴史と文化を広く紹介し関連資料や美術品を後世に遺すために収集保存し、文化振興と生涯学習を推進する。	収蔵資料を永く後世に伝え、また展示等でも利用者に良好な状態でご紹介できるよう管理保存を行う。収蔵品台帳の整備、適正な寄贈・寄託手続を心がけるほか、収蔵庫や展示室の空調・光線の適正化、虫カビ・天災・盗難・火事等の予防に努める。資料の劣化を抑えながら安全に展示するための技術や道具等を備える必要もある。また個人所有の資料等に対するご相談への対応や資料等の重要性をお伝えすることが、貴重な資料の滅失を防ぐことに繋がるため、資料等の調査研究も重要な業務の一つである。どれも状況や資料により手法を変える必要がある場合が多く、経験値を増やし有識者に聞きながら最善の手法を検討している。	5,035	適切	改善の余地あり	適切	変化あり	増加	地域の歴史を継承する上で、必要な業務である。一度滅失等すれば、二度と手に入らないため、適正な管理、展示が必要と考える。	入館者数や運営費用などによる費用対効果も考慮しながら、管理手法（常設展・特別展の開催形態等）を検討してください。
43	教育部会	社会教育課	天然記念物管理事業	国指定天然記念物「臥牛山のサル生息地」に生息するニホンザル群が、自然の群れとして臥牛山周辺の自然の中で生息していくことを目的に保護管理を行う。	天然記念物「臥牛山のサル生息地」保護管理委員会において適切な保護管理と食害対策のため、保護管理の方針を策定し指針に基づき保護管理を実施。1日5人の管理員による365日の観察・監視と食害防止のための追い上げを実施。発信機をサルの群れ（4群）に装着し、サル群の位置と遊動域を把握。臥牛山周辺の町内会住民を現地対策委員として委嘱し、サル情報の共有と被害対策を共同し被害対策を共同で行う。食害対策のため被害農地へ電気柵を設置。今後の管理方針の基礎資料のため個体数調査や個体数変動シミュレーションなどの各種調査を実施。個体数管理を実施するため、関係機関と協議を実施中。	30,762	適切	改善の余地あり	適切	変化あり	変化なし	必要不可欠な業務ではあるが、その継続性を確保する上で、手段、方法等については、研究が必要。	天然記念物の保護管理という観点からも、引き続き国費と市費の負担割合の適正化に向けて、満額給付の要望等に努めてください。
44	教育部会	社会教育課	吉岡銅山関連遺跡調査事業	吉岡銅山関連遺跡の詳細な調査による国の史跡指定と後世への継承	吉岡銅山関連遺跡の歴史的な評価を行うため、吉岡銅山関連遺跡調査委員会を設置し、調査範囲と方針を検討。それに基づき、現況を確認するための踏査と記録作成のための測量、埋蔵文化財把握のための発掘調査、及び文献調査を実施し、吉岡銅山跡の歴史的評価と現状を記録している。この積み重ねにより、国指定史跡を目指すとともに、その評価に基づいた歴史的価値を後世に継承していく。	3,711	適切	適切	適切	変化あり	変化なし	国の史跡指定により、歴史的価値を高めるとともに、観光資源としての効果も期待できる。	

令和5年度高梁市事務事業評価 対象事業・本部評価一覧

資料2-2

対象事業 ※Noは【参考資料】評価シート一式のページ番号と同じ				事業内容（評価シート抜粋）			各部会（部員）評価結果（評価シート抜粋）						本部評価
No	部会	所属	事業	目的	手法	R4事業費 (千円)	目的 妥当性	有効性	費用 対効果	社会情勢 ・環境	ニーズ	部会長コメント	
45	教育部会	スポーツ振興課	生涯スポーツ推進事業（スポーツ大会委託料）	市民を対象とした大会を開催することで、スポーツへの関心を高め、健康の増進と体力の向上を図り、生涯スポーツ社会の実現に向けた取組を行う。	主に市民を対象とした大会を開催している。 ①市民スポーツ祭（17競技大会） ②市陸上競技選手権大会 ③市民健康づくり愛らぶ高梁ふれあいマラソン	5,550	適切	適切	適切	変化あり	増加	コロナ禍で低下した市民の交流の機会、体力づくりの向上を図るため、コロナ禍以前の参加数を目標に進めていきたい。	